

3. 鳥取沿岸の砂浜海岸復元と 港内堆積砂抑制に向けた検討着手

32

(1) 当該技術検討の目的

本県では、美しい砂浜海岸を保全・回復させるため、平成17年(2005年)6月に全国初の取組として「鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン」を策定し、同ガイドラインに基づき国・県・市町村等の各管理者が連携・協力して、構造物の設置を要しない土砂の流れの連続性を確保する対応策(サンドリサイクルやサンドバイパス)を基本原則として、従来方式の局所最適化から脱却し、現在に至っている。

このことについて、現状で満足することなく、低コスト化や地球環境保全に配慮し、鳥取県の地域特性に適合した恒久的サンドリサイクルシステム導入を目的として、必要な検討を行う。

33

(2) 当該技術検討のメンバー

氏名	所属等	分野
宇多 高明	一般財団法人 土木研究センター 常務理事	海岸工学
栗山 善昭	独立行政法人 港湾空港技術研究所 特別研究官	
佐藤 慎司	東京大学大学院工学系研究科 教授	
松原 雄平★	鳥取大学大学院工学研究科 教授	
宮森 由美子	環境省近畿地方環境事務所浦富自然保護官事務所 自然保護官	環境
和田 年史	兵庫県立大学自然・環境科学研究所 准教授	
村島 一美	岩美町産業建設課 課長	地元

★：委員長

オブザーバー： 黒岩正光教授@鳥取大学大学院工学研究科
 澁谷容子特命准教授@鳥取大学男女共同参画推進室
 野口仁志特別研究官@(独)港湾空港技術研究所
 三谷裕之課長@鳥取市農林水産部林務水産課

34

(3) 当該技術検討の進め方

○第1回技術検討委員会(平成24年11月7日(水))

- ・現状把握
- ・全般的な議論

○第2回技術検討委員会(平成25年7月3日(水))

- ・前回検討課題の中間報告
- ・鳥取方式の効率的・効果的なサンドリサイクル手法(鳥取方式のサンドリサイクルシステム)に導くための工法整理
- ・進むべき方向性の確認
- ・実現に向けての課題抽出

○第3回技術検討委員会以降(平成26年10月31日(金))

- ・これまでの検討課題の整理
- ・簡易な移動装置によるサンドバイパス試験工事(第1回、第2回)の実施結果
- ・システム能力及び実現に向けての方向性の確認

○第4回技術検討委員会(平成27年3月17日(火):最終)

- ・実現に向けての積算基準(案)、工事仕様書(案)の作成
- ・鳥取方式の効率的・効果的なサンドリサイクル手法(鳥取方式のサンドリサイクルシステム)導入戦略(ロードマップ作成)等

35